



社団法人
長崎青年協会会章

我々は会員の回結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
努むる事を目的とする

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人長崎青年協会



■本年度スローガン

ハートが ちからに
行動が ちからに

NYA press no.166
April 1993

4

発行/長崎市魚の町7-7
(社)長崎青年協会
会長 森 保博
編集/広報委員会
広報委員長 伊藤克樹

社団法人 長崎青年協会新体制スタート (平成5年度)

第25年度 会長 森 保 博



社団法人長崎青年協会25年度新体制が、4月よりいよいよスタートです。「ハートがちからに、行動がちからに」をスローガンに、会員の皆様と共に、単に活動の場ではなく人間同志の感動とふれ合いを大切に、知識よりも知恵を、テクニックより信念を、才能より執念を持ち、声を出し合う活動をして行きたいと思っております。

本年度は創立25周年、社団法人になって10周年を迎える年にあたり、5つの基本方針を示したいと思います。

1. こだわりの事業展開

世の中は一瞬もとどまることを知らず進歩を続けています。これまで通りの方法もつねに「なぜ」という目で洗い直し「この辺でよい」という妥協を捨てて「もっとよい方法はないか」を合言葉に、事業に魅力を付加していきたいと思えます。

妥協をしりぞけ自己挑戦をするときに、本当の成長があるのではないのでしょうか、10の消耗をしたら11の補強を心がけ常に一步前に入る気力と「歩く、持つ、かつぐ」といった動きの中から、座っては気付かない新鮮な知恵を出して、あふれるほどの創意と熱意をもって事業に取り組んで行って欲しいと思えます。

2. 青年協会「風」の新しい見直し

「風」の欠如は協会の連帯を支える「心」の喪失を意味するよう思えます。先輩達が築かれた創立以来地道に歩み続けた堅実な道、協会の歴史、協会の体質を大切にして、よき青年協会をつくる意味合いからも会員の心意気を高め、良くも悪くもみんないっしょだという気迫をもち、声を出し合って新しい「風」をもう一度見直して行きたいと思えます。そして、青年協会のモットーである歩く事業、手よごす事業を積極果敢に実行していきたいと思えます。

3. 標準化を計る

標準化こそ改善のための第1段階だと思います。決めておけば人間の行為のムダはなくなり改善がなされます。必ず決められた場所に、決められた責任、方法によってやらなければいけないのです。標準化とはいいかえれば「必要なこと」と「不必要なこと」をハッキリ区別することであるともいえます。「不必要なこと」は何回くり返しても決して価値を生みません。古いものを断ち、思い切って新しいことへ踏み出し、合理的に割り切る事も必要となるでしょう。そして、「いつでも、どこでも、だれでも」わかるシステムと「立案・計画・準備・実行・反省」の流れを再構築して欲しいと思えます。

4. 研修会の充実

内部研修会の充実を計って欲しいと思えます。1年、6ヶ月、3ヶ月という、中期、長期的な視野で考えた研修を立案し、何を提供することが青年協会の使命か？存在価値は何か？役割は何か？市民は何を期待しているのか？を考え、青年協会の使命感を確立していきたいと思えます。そして不安を抱いて行動している新人に折を見て近づき、声をかけ手を添えてやり、事業に対しても驚異と疑問と興味を抱いて欲しいと思えます。

5. 25周年事業は体当たりで

分秒の狂いもなく順序正しく運んだ事業であっても、事業に心がなければ参加した人達はすべてが終わった時に言いようのない味気なさや空しさを感じるのではないかと思います。式次第は手順であり大切なのは人間同志の共感です。感動のない事業は形式のお化けにすぎません。そしてまたお客様を歓迎する場合も最後の締め括りが大切です。合理性が行きすぎて余韻の残らない事業というのは人間の心をとらえることができません。礼を尽くして当たれば動かぬ人はいないと思えます。あらゆるアイデアを総動員し、全員参加で体当たりして望みたいと思えます。

以上5項目を基本方針として、人の投げたボールをどう受け止め、どう投げ返すか、自己対決をしながら常に未来を見つめて新たな意欲を燃やして、今日現在に全力で投球して行きたいと思っておりますので、全員皆様のご協力とご家族の暖かいご支援をよろしくお願い致します。

● 新年度役員 の 抱負 ●



直前会長

船越 正治君

卒業者でただ一人特別会員ということで、直前会長をやらせてもらいます。25年度は、新しく委員長になった方が多数おられますので、委員会・理事会のあり方や、スムーズな進行を応援したいと思っております。また、25周年事業に関しては、色々な方々の協力が必要ですので、特にOBとのパイプ役で頑張ってみたいと思っております。



監事

劉 濟才君

卒業する年度にあたり、監事に任命されたは、私にとってとても光栄なことと思っております。これまで、通算10回も理事を経験させていただいたわけですが、その経験を生かして今年度は会の流れや理事会の進行をあたたかく、又厳しく見守りながら、監事としての職務に就き有意義に締めくくりたいと思っております。



監事

岡村 一憲君

「馬鹿になれたら馬鹿でなく、馬鹿になれない馬鹿もいる。」青年協会とは何かと問う時、私の頭にはいつもこの言葉が浮かびます。63年に入会して、あっという間に最後の年になりました。何か寂しい気がしています。という反面、後1年まじめに監事として森新体制を微力ながらも支えていきたいと心に誓っております。



25周年担当監事

桑田 啓伍君

25周年の節目にあたり、青年協会の本質を改めて考えてみる時がきたように感じます。25周年の記念事業では、まず青年協会の基本に戻ろうと思ひ障害者と共に行うフーセンバレーボール大会の開催、青少年育成のための体験学習、大運動会、記念式典 etc 盛り沢山です。全会員の協力をよろしく願ひします。



事務局長

金田 芳裕君

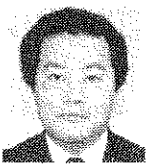
理事会の円滑な運営と、内外部のパイプ役をモットーとして一年間頑張りたいと思ひます。会員皆様のご協力を宜しく願ひします。



総務担当副会長

渡辺 秀孝君

今年度、総務担当副会長として重責を担うわけですが、3委員会、とても意欲に燃えておりますので素晴らしい活動をするものと安心しています。私自身も心を新たに各委員会に参加し、意見を理解、尊重しながら役員を全うしたいと思ひます。最後に会員皆様のご協力を宜しく願ひ申し上げます。



会員担当副会長

井上 章君

会員担当グループ憲章基本主義。
我々は、会員の団結と相互扶助の精神の基に、自己の建設をお手伝いする“研修委員会”と、会員の親睦を図る“会員交流委員会”とをもつて、地域社会の発展に寄与することを目的とする、長崎を愛する若者を集める“会員開発委員会”であります。よろしく願ひします。



事業担当副会長

新ヶ江 憲和君

2年間委員長をさせて頂き、委員会、理事会のメンバーとも“本音”の付き合いができ、自分自身いろんな面で、成長させてもらったと思ひます。今年度は3つの委員会を担当させて頂くことで増々“本音”の仲間の輪を広げることができると楽しみにしています。委員会の考えをよく理解して微力ながら応援していければと思ひます。



企画担当副会長

城谷 富好君

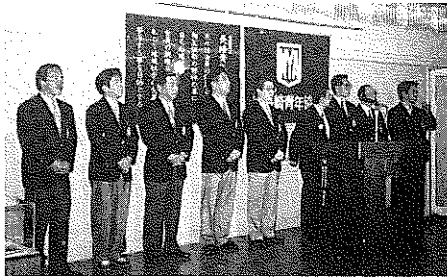
自己成長の過程として、努力研鑽していきたいと思ひます。目先の事に囚われず、長期的・巨視的な観点から「認識」・「発見」・「発言」が出来るよう頑張っていく所存ですので、皆様のご協力を宜しく願ひ申し上げます。

卒業を送る夕べ 平成4年度3月例会

平成5年3月22日(月)

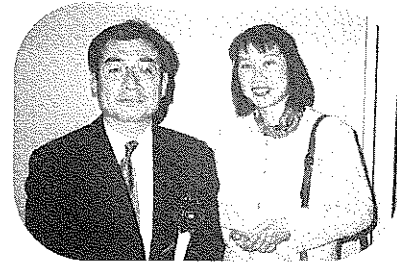
於 ホテルニュー長崎

3月22日、ホテルニュー長崎に於いて3月例会が行われた後、卒業を送る夕べが開催されました。卒業生10名は拍手で迎えられ、劉直前会長よりプレザーが手渡されました。卒業生からは代表として田代君が、森次年度会長に記念品が贈呈されました。懇親会では、奥様からのメッセージが紹介され、暖かなムードの卒業を送る夕べでした。卒業生の皆様の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



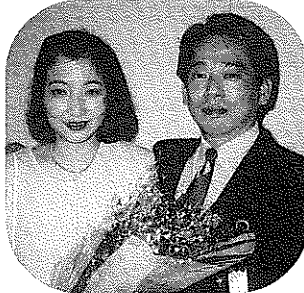
船越 正治君

昭和59年入会
特別会員として在籍
しますので、卒業者の
ことばは割愛させて頂
きます。



田代 博昭君

昭和55年入会



青年協会に入会して13年が経ち、私の人生において節目の年を迎えました。在籍中に知り得た先輩方や仲間たちと共に活動を通して多くのことを学んだことは、私の財産となり、腹ん中から青年協会人として卒業できたと思っております。今年、青年協会は25年度目となり、益々各方面より注目され、なにかと大変な年となるでしょうが、青年協会の伝統である「情熱・挑戦・対話」どおり、活気ある活動を続けてください。これまでの皆様のご厚情に深く感謝し、お礼申し上げます。

ありがとうございました。

青年協会に入会し、卒業までの8年間にはいろいろなことを体験させて頂きました。中でも、国際委員会の時、“留学生のつどい”を企画し、仕事の合間を縫っては、委員会を何度も重ね、試行錯誤の末、成し遂げた時の充実感、仕事での充実感とは一味も二味も違うものでした。この経験こそが、青年協会の宝ではないかと思う程です。

今思うことは、“やれば出来る!! やってやれないことはない”ということでしょう。しかし、そこには会員間の協力が不可欠だということは言うまでもないのです。

松尾 秀二君

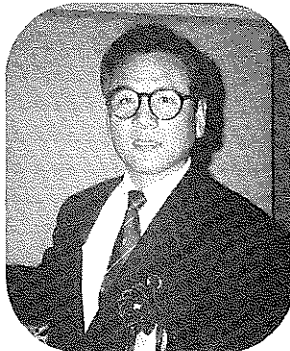
昭和60年入会



初めて氷上に立つという言い方があてはまるかどうか分からないが、地につかぬ状態で入会の挨拶をした。以来新人の挨拶が気になった。多方面の人たちと接し学びたいというのが入会の動機だったが、消極的な自分を励まし卒業を迎えることができて本当に満足している。当初、誕生祝いの唱和に鳥肌立てて感激した。湯とりもちの味も忘れられない。委員長を3年経験し、そして理事も退き一会員として、リーダーシップやチームプレーの重要さを両面から観ることができた。時間的な制約の中で悔いは残るが、皆さんは情熱と研鑽を惜しまず活躍されることを期待いたします。

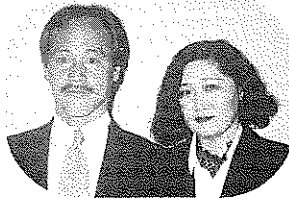
浜本 勝馬君

昭和59年入会



田川 孝之君

昭和55年入会

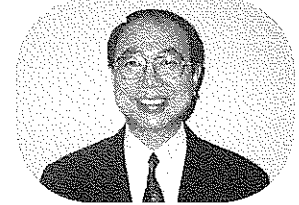


35才での入会でしたので、協会平均年齢よりは歳いっての入会でしたが、今日、卒業まで在会できた事は、会員皆様のお陰だと思っていますし、自分自身も何かを成し遂げたいという気持ちがあつて、ここまでこれたのではと思っています。当初は、「下らない会に入った」と思っておりましたが、諸先輩の教えと、皆さんが一致団結して事を成し遂げるという、スバラシイ和の精神に感動したのが、大きな支えになったのではと思っています。在会者の皆さん、これからも良き青年協会を造り上げて下さい。ありがとうございました。

「ありがとう！」この言葉を残して青年協会を卒業したいと思います。昭和55年入会以来、沢山のひとと出会い、又、貴重な経験をさせてもらった青年協会。今思い起こしても、ついこの間のような気がします。人と人がふれ合う場はいろいろありますが、青年協会ほどいろいろなひとと何のこだわりもなく接触できる会はそうないのではないのでしょうか。永い人生の一時期に、このような所に身を置くことができたのを大変幸せに思います。これからも、青年協会を大切にしていきたいと思っています。

大門 政幸君

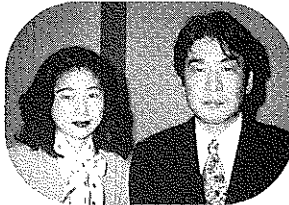
昭和63年入会



入会が遅く、短い在籍期間でしたが、協会活動を通じて、楽しい日々を送ることができました。仕事柄、広報関係で微力ながら一助になれたと思っています。でも、やはり事業が一番印象に残っています。活動としての充実感、終了後の満足感、また、新しい発見や何と云っても友人との親睦が深まったことなど、これから先の自分にプラスになる体験ができました。後輩への言葉として「青年協会を楽しんでください」とアドバイスを贈ります。

岩崎 直哉君

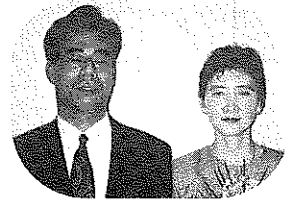
昭和63年入会



青年協会に在籍して6年は、私にとって、いろんな意味で得ることが多かった。青年協会は、対外的には地域社会に奉仕する団体ですが、一方で、多くの友人の中から卒業後も付き合いのような友人を作ることが出来るのが、青年協会の良さではないでしょうか。今後の皆様のご活躍をお祈りいたします。

岡崎 武彦君

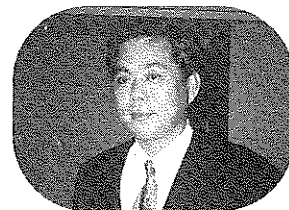
昭和61年入会



青年協会を卒業となった今、いろいろな思いが頭の中を駆けめぐっています。現役中は本当にすばらしい体験をさせて頂きました。又、多くの友達や仲間にも恵まれて、私にとって青年協会は、大切な生活の一部だったと言えるでしょう。そして今、数々のすばらしい思い出に包まれながら卒業できた事をとても幸福に思います。皆さん本当に有り難うございました。これからも益々すばらしい青年協会へと育て上げる為に頑張ってください。

大平 和男君

昭和62年入会



花曇りの昨日、4年11ヶ月を過ぎ皆様には大変お世話になりました。七千円の会費で多くのひと々と出会い、今迄の生活では経験できそうなない期間を過ごせたことは、感謝にたえません。今年度は国際委員会を預かり、よい反省と、新しい自分自身の発見を見出すことができたことは、大きな収穫でありました。皆様の今後ますますの発展と、自己研鑽をされNYAの無限の可能性を実現されますことを祈っております。ありがとう。

中川 進吾君

昭和63年入会



NYA information

SECRETARIATE 4月1日より事務

事務局

局は土曜日が休みとなり、朝10時からと変更となりますので、宜しくお願いいたします。
月曜日～金曜日 OPEN AM10:00
CLOSE PM5:00
土曜日、日曜、祭日、休み

SOFT BALL ソフトボール同

ソフトボール同好会

好会では、3月30日にミーティングを行いました。近年、低迷が続けていますが、今年は試合まで練習を重ねて、念願の“一勝”を実現させたいと思います。皆様の応援を宜しくお願いいたします。

GOLF 去る3月11日(木)

ゴルフ同好会

愛野カントリーにおいて第5回船越会長杯が17名の参加で盛大に開催されました。見事、優勝に輝いたのは井川憲太郎OB、2位、黄醒博OB、3位清水由美子(清水君の奥様)さんの順でした。



TENNIS テニスには心地好い

テニス同好会

季節がやってまいりました。しばらく期間があきましたが4月23日(金)トレディアテニスクラブにて開催する予定です。多数のご参加をお待ちします。また名簿を作成しますので、ご協力を宜しくお願いいたします。

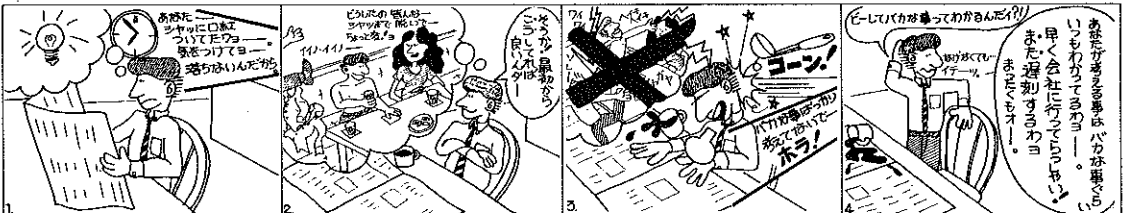
日時/4月23日(金)PM9:15~PM11:45
場所/トレディアテニスクラブ(文教町)

結婚おめでとう!!! 渋谷 晃君

去る3月13日、日本晴れの土曜日、渋谷晃君と史子さんが中町教会においてめでたく結婚式を挙げられました。披露宴は、ホテルニュー長崎で行われ、日本舞踊に龍踊り、ジャズダンスにマジックショーという余興で、それはそれは盛大なものでした。また出席された会員の方々へよろしくとのことでした。末永くお幸せに♥♥



ぼってん君 家来迎の字のひら 徳りない煙囪の巻
Eg. O.R.L.L



☆海星修道院・海星学園図書館 1992都市景観賞(表紙説明)☆

今年度の表紙は「長崎の都市景観」にスポットをあてご紹介していきます。今月は1992長崎市都市景観賞を受賞した「海星修道院・海星学園図書館」です。長崎市都市景観賞は、長崎市と長崎商工会議所が中心となり、自然環境を生かし、歴史的な文化遺産を継承しながら、人間のふれあいのある都市、洗練された街づくりに寄与する作品に対して贈られる賞です。

1992 都市景観賞

■海星修道院

所在地:長崎市

東山手町1番2号

用途/寄宿舎(修道院)

階数/地上5階 地下1階

構造/鉄筋コンクリート造

延面積/2668.38㎡

高さ/21.55m

■海星学園図書館

所在地:長崎市

東山手町1番1号

用途/図書館

階数/地上4階

構造/鉄筋コンクリート造

延面積/1640.29㎡

高さ/16.35m

[選定理由]

海星修道院は、斜面都市長崎の景観の中で最も印象的な建物として親しまれてきた。学園創立100周年を記念して、老朽化した建物の立て替えに際し、在来建物に近い外観の再現が図られ、併せて隣接して建築された図書館とともに、東山手に新しい長崎の代表的な景観としてその姿を見せることになった。

写真提供 長崎市都市景観賞表彰実行委員会